

下野市小学生交流団が高松市を訪問しました

8月9日（月）から11日（水）の3日間にわたり「香川県高松市」（旧国分寺町）との友好親善交流として小学生派遣事業を実施しました。同じ「国分寺町」という所から交流が始まり、合併によりそれぞれ町名が変わっても今までどおりの友好親善を図るため、地域間交流という形で毎年、派遣事業を行っています。

今回の派遣団は下野市内小学6年生20名、引率者（小学校教諭）2名と橋本団長（国内交流協会会長）、事務局（生活安全課）の24名でした。



初日は、地元小学生の太鼓演奏での出迎えと本場の「讃岐うどん」でもてなしを受け、本場の味を十分堪能しました。その後、地元小学生との交流会や讃岐国分寺資料館、史跡の見学を行い、交流を深めるとともに、間近に古代の歴史に触れることもできました。

2日目は、「善通寺」、「金刀比羅宮」、「栗林公園」、「屋島」を巡り、歴史と自然と風土を満喫しました。特に、「金刀比羅宮」は暑さもあり、階段登りは大変でしたが、団員同士が励ましながら御本宮までの785段を登りきりました。

3日目の最終日は、瀬戸内海での「地引網体験」と「海水浴」でした。特に「地引網」は参加団員のほとんどが初めての体験となったようで、非常に思い出に残る体験となりました。その後、地引網で捕獲したタイやタコなどを地元の交流協会の方々に料理していただき、「お別れ会」の際に振舞っていただきました。3日間という短い時間ではあったと思いますが、高松市の小学生との交流や「讃岐国分寺」の歴史や自然に触れ合うことによりお互いの友好親善を深めることができたと思います。



また、結団式において広瀬市長より「交流事業に参加して行く前と、行った後では目の輝きが違う」とのあいさつのおり、最終日の団員たちは日に焼けて、少し頼もしく映りました。

今回の交流事業を通して、参加した子供たちには、「友好親善の大切さ」や「人とのふれあい」と同時に地元への郷土愛も深めてもらい、今後も友好の輪を広げて行ってほしいと思います。

最後に高松市滞在中において讃岐・下野国分寺交流協会の宮崎会長をはじめ役員方々のご尽力により「地引網体験」をはじめとした様々な交流事業が実施できたことに対しまして、感謝を申し上げます。

問い合わせ先 生活安全課 ☎40-5555

通学路の交通規制について

● **場所**

下野市役所石橋庁舎南側の交差点から石橋小学校西側交差点までの間

● **時間帯**

平日の午前7時～8時30分までの間

● **場所**

国分寺西小学校南側道

● **時間帯**

平日の午前7時30分～8時までの間

スクールゾーン規制により、車両進入禁止、車両通行禁止となっています。公安委員会の許可を受けた車両以外は通行することはできません。また許可を受けた車両は、許可証を車内の見える所に掲出してください。

登校児童の安全確保のため、ぜひご理解とご協力をお願いします。

● **問い合わせ先**

生活安全課
☎(40) 55555

